

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）			
科目名	<b>教育相談の理論と方法</b>	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	<b>School Counseling</b>	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	たきざわ じゅん	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	瀧澤 純	修得単位	2単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	学校で起きる問題に対する理解を深め、対処方法を学ぶ。			
到達目標	教育相談の対象となる問題（非行、いじめ、家庭の問題など）に対する解決法を考え、身につける。また、学内の連携や学外の専門家との連携についても理解できるようになる。			
授業概要	教育相談についての基礎的な知識を講義形式で学ぶ。さらに、実際に起きた事件や、架空の事例を読み、自分が教員ならどう解決するかを考える。ロールプレイングを行うこともある。			
授業計画				
第1回	教育相談とは：進路指導・職業指導・生徒指導との違い			
第2回	カウンセリングの基礎① 心に注目する：心の病の原因、精神分析療法、適応機制			
第3回	カウンセリングの基礎② カウンセリングマインド：教育相談の機能、基本的態度			
第4回	カウンセリングの基礎③ 非言語的コミュニケーション：来談者中心療法、ラポールの形成			
第5回	カウンセリングの基礎④ 自己に注目する：養護教諭、スクールカウンセラー、転移と逆転移			
第6回	非行① 困った生徒への対応：学校内の役職（充て職）、暴走、万引きをした生徒			
第7回	非行② 校内暴力、体罰と懲戒：体罰の基準についてのガイドライン、警察や地域との連携			
第8回	犯罪被害：子どもとインターネット、外部の相談機関、危険ドラッグ			
第9回	いじめ① いじめの基礎知識：いじめの統計、定義の変遷、いじめは増えているか			
第10回	いじめ② いじめへの対応：いじめ防止対策推進法、4タイプ理論、4階層構造論			
第11回	いじめ③ ネットいじめ、不登校、虐待：ネットいじめの特徴、不登校の原因、虐待の種類			
第12回	家族の問題：家庭内暴力、モンスターペアレント、相談の枠			
第13回	精神的な問題：精神障害治療の歴史、中高生に特徴的な精神障害、認知行動療法の実際			
第14回	総合実践① 問題の発見と背景の想像			
第15回	総合実践② 問題への対応と予防			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	授業計画に書かれた用語について予習し（1.5時間程度）、毎回の復習を行う必要がある（1.5時間程度）。自分や周囲の人が体験した学校でのトラブルについて、どのように解決するべきなのかを考えること（0.5時間程度）。			
履修条件 受講のルール	特にない。			
テキスト	使用しない。授業中に資料を配布する。			
参考文献・資料	山崎浩一・村上香奈（編著）『子どもを支援する教育の心理学』（ミネルヴァ書房、2021年発売予定） 丹野義彦ほか『自分のころからよむ臨床心理学入門』（東京大学出版会、2001年） 丹野義彦ほか『New Liberal Arts Selection 臨床心理学』（有斐閣、2015年）			
成績評価の方法	平常点（授業態度、提出用プリント）を40%、期末試験を60%として評価する。出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。			
オフィスアワー	月曜日の3時限（13:00から14:30）、金曜日の2時限（10:40から12:10）			
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)とする。			
学生への メッセージ	授業へ積極的に参加してください。			